

2021/9/17 (金)
15 : 35 ~ 15 : 50

講義③

『HIV陽性者の今 ～就労と治療の両立～』



琉球大学病院

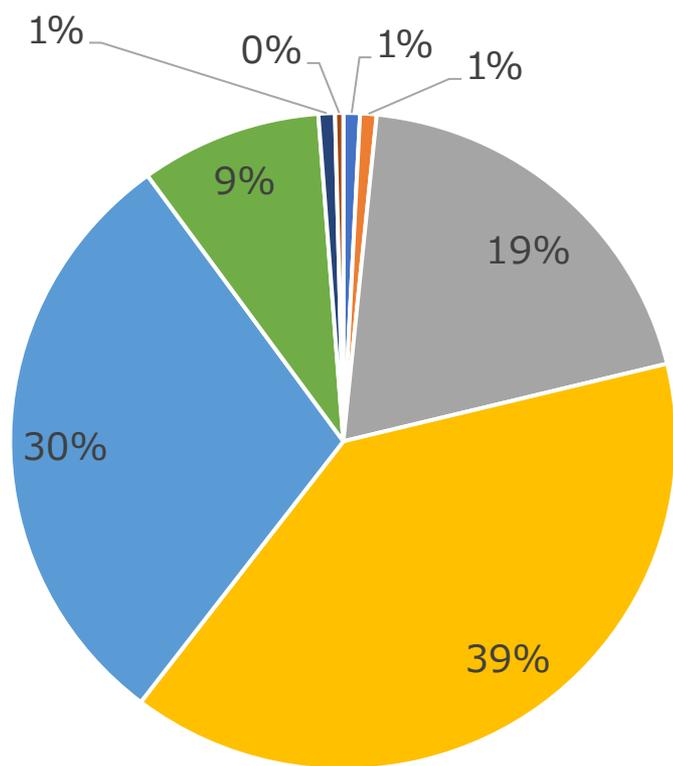
HIVコーディネーターナース

宮城京子



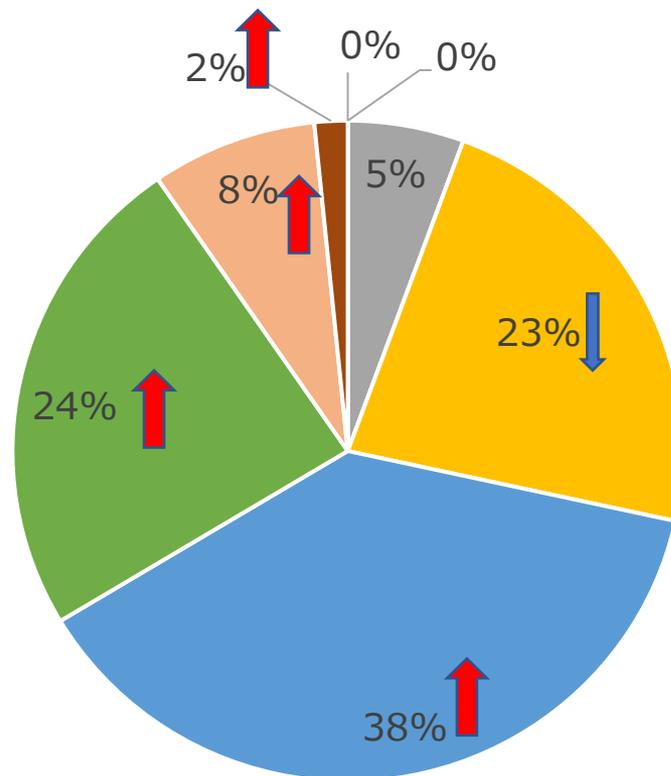
通院患者の初診時年齢と現時点の年齢

2021.9時点 n = 251



初診時年代

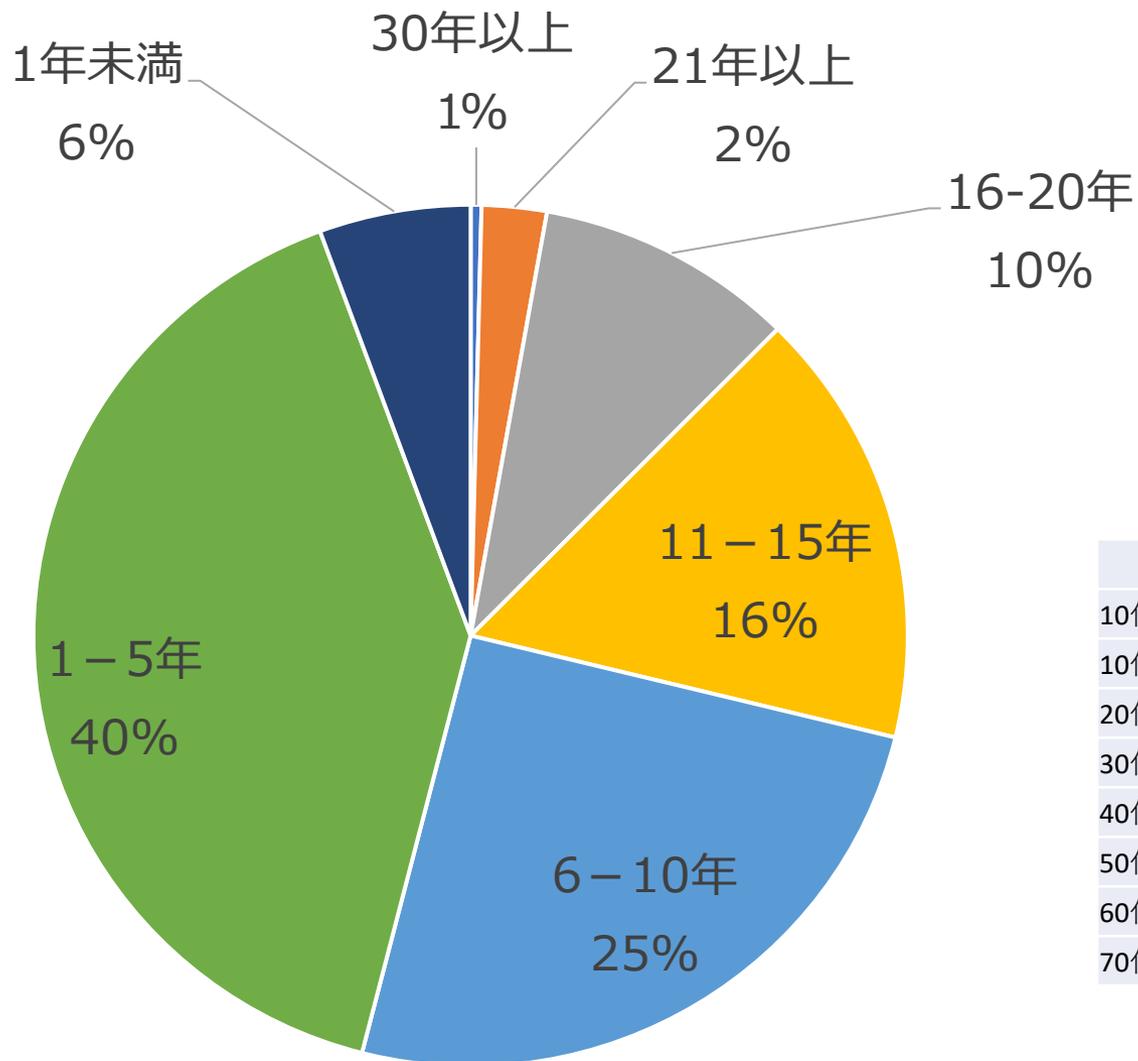
- 10代未満
- 10代
- 20代
- 30代
- 40代
- 50代
- 60代
- 70代以上



現時点年代

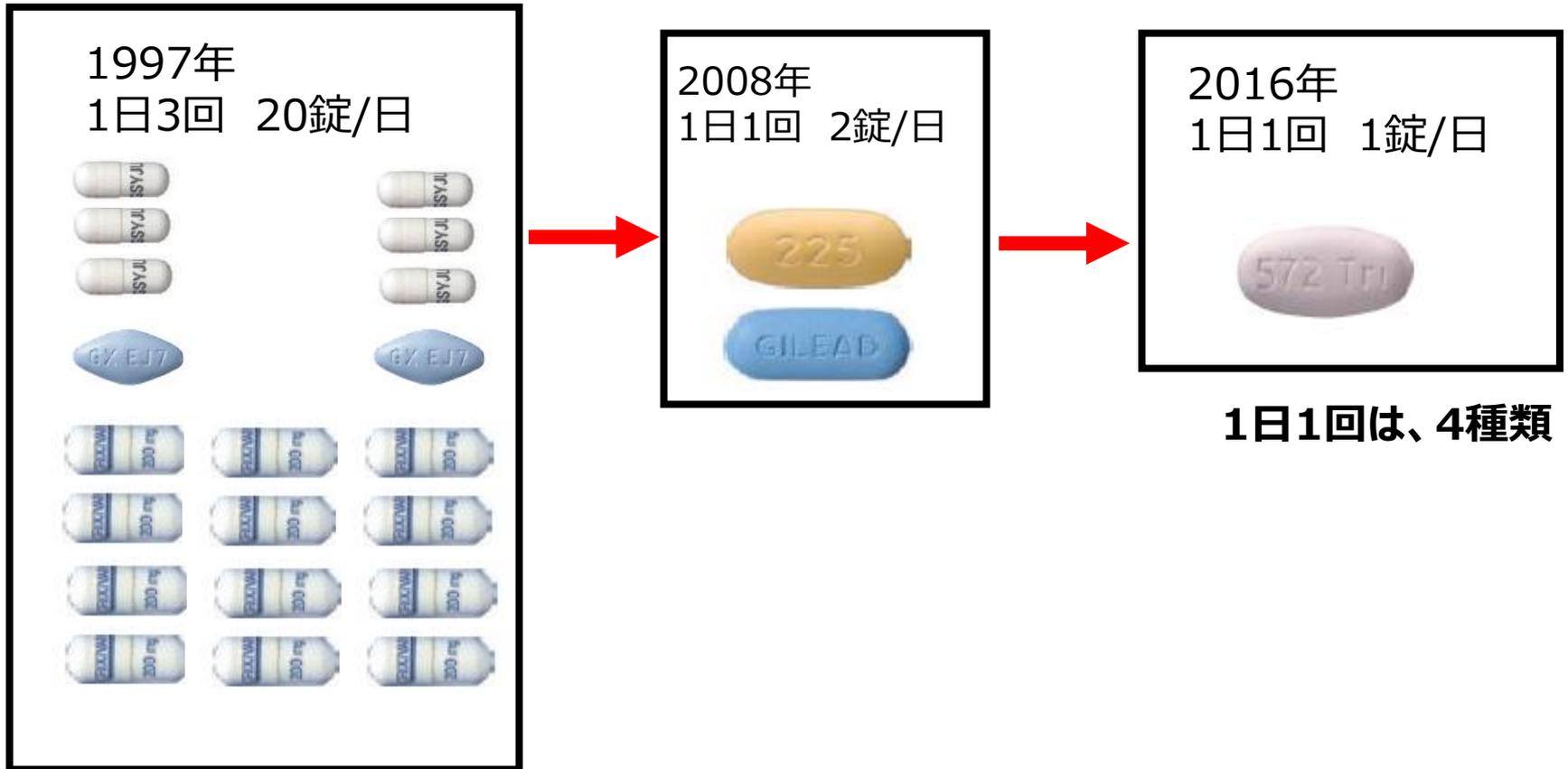
通院患者の初診時から経過年数

2021.9時点 n = 251



	初診時年齢	現時点の年齢
10代未満	2	0
10代	2	0
20代	49	14
30代	98	57
40代	74	95
50代	22	60
60代	2	20
70代以上	1	4

抗HIV薬

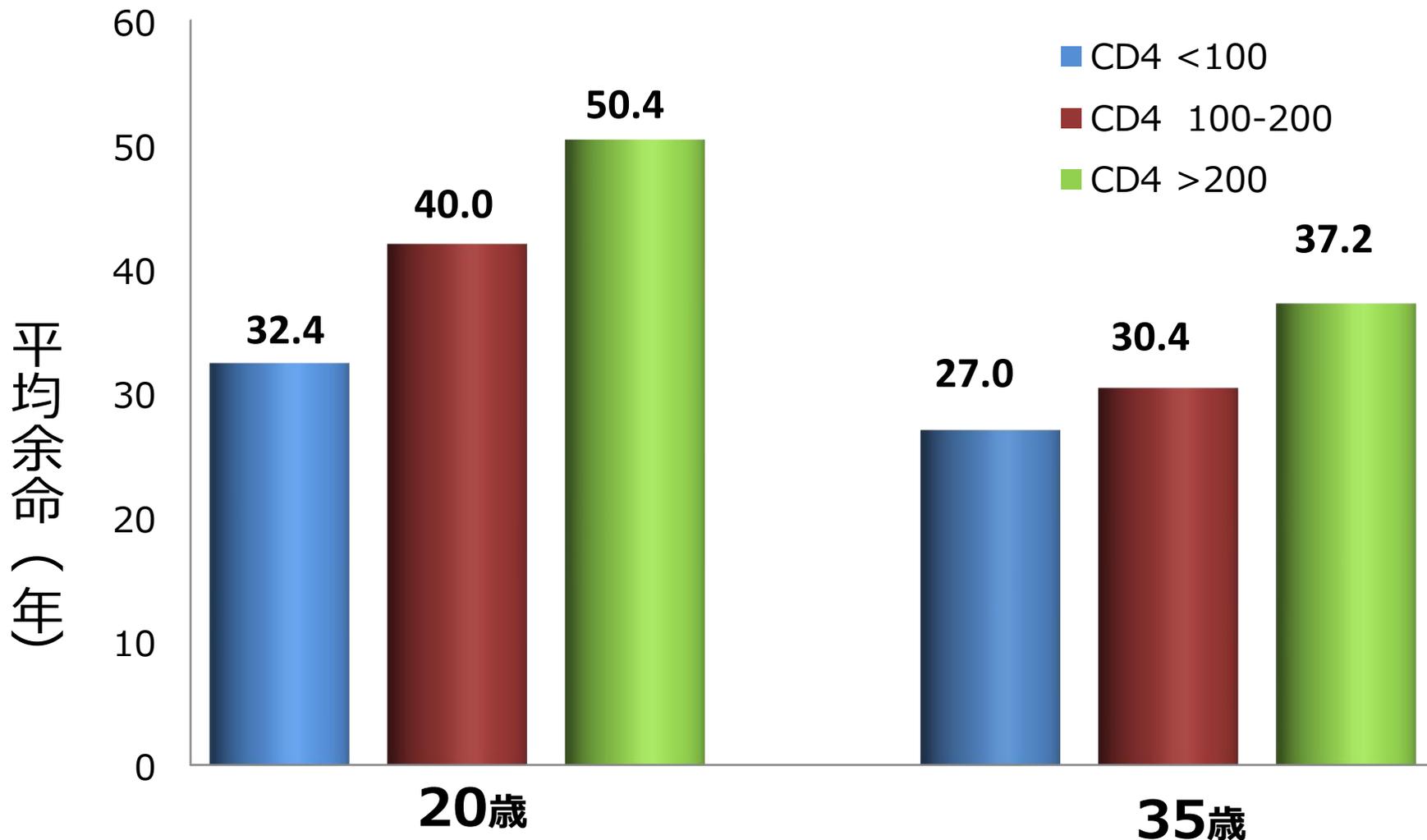


服用錠数も回数も多く、
副作用も多い



薬剤の効果は格段に向上
副作用も減少

ART導入時のCD4数別 平均余命の比較



仕事と内服継続

➤ 内服時間

→ 定時内服が大切

「日中がいいけど、職場では、
こんな大きな、こんな色をした薬を見られたら、
大変」

「自宅で飲むしかない」

「仕事中でも、1錠だから、パッと飲めるよ」



仕事と受診継続

➤ 職場との関係

「仕事が決まったばかりで、休みが取れない。

どのように職場に伝えたらいいんだろう」

「HIVとは、言えないでしょ」



→定期受診は、1～4か月に1回



「年休や夜勤前後で時間作れるから大丈夫」

仕事と受診継続



➤ 職場との関係

「職場には話したけど、全員が理解は示してくれない」

→ 出前研修を開催

「職場には、話した。特に問題なく受け入れてもらえたと思います」

→ 人事担当者がHIVについて勉強をしていた

**一人ひとりが正しい知識を得ること、そして理解することが、
HIV陽性者が住みやすい、仕事しやすい環境を作ります。
よろしくお願いいたします。**

